

「第5次秋田市社会教育中期計画(素案)」に対する意見等一覧

No.	意見	市の考え
1	(P2 第1章 3(1)国の動向) 義務教育修了までに秋田出身の偉人を紹介し、子どもたちの可能性を引き出すきっかけとするべき。また、偉人を紹介することにより秋田を誇りに思い、自信につなげてほしいと思う。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。 また、担当課にもご意見を伝えました。
2	(P3 第1章 3(2)秋田県の動向) 「知と行動が結び付いたクリエイティブな循環型社会」とは何を意味しているのか。	秋田県生涯学習ビジョンでは、秋田県の生涯学習の将来像として「人々が美しい自然や文化を大事に守り育てながら、生き生きとそれぞれのステージで活動し、互いに支え合って暮らしている姿」を表現したもので、学んだことを行動に結び付けることによって、新たな学びにつながり、「学びと行動の循環」が、「周囲を巻き込んで地域社会を築いていくというイメージ」と記載されています。
3	(P5～7 第2章 3第4次計画の評価と課題) I～Vまで評価と課題が掲載されているが、課題についてはそのまま引き継ぐと良いのではないかと。特に、「生涯学習手帳」の周知配布を徹底してもらいたい。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますとともに、「生涯学習手帳」については、周知・配布に努めてまいります。
4	(P5 第2章 3第4次計画の評価と課題) 各事業の高評価は大いに敬意を表す。しかし、あくまで参加者の評価であり事業によっては参加者の固定化や自己満足といった課題が残る。事業を実施する際には、理念や目的、参加の拡充、波及効果といった視点を大事にしたい。また、全事業を通して、市の重点事項を踏まえて、体系化・系統化していくことが必要だと思う。	いただいたご意見については、第5次の計画に基づいて各事業を計画および実施する際に参考とさせていただきます。
5	(P7 第2章 3第4次計画の評価と課題) どのような方法で展示・配布されているのか。課題に「積極的に周知・配布に努める」としているが「手段・方法をどのように変更・拡充するのか」、具体的に説明するべきではないか。	「秋田市の生涯学習」については、各社会教育施設や文化施設に設置しております。「生涯学習手帳」については、各公民館や市民サービスセンターの学級や講座で配布しておりますが、今後も周知に努めてまいります。
6	(P6 第2章 3第4次計画の評価と課題) 「生涯学習講師団への新たな人材登用を図る必要がある」と記載されているが、どのような方法で人材登用を行っているのか。	社会教育関係機関より提供いただいた生涯学習インストラクターや生涯学習コーディネーターなどの人材情報を参考として登用しております。
7	(P7 第2章 3第4次計画の評価と課題) 「時代のニーズを捉えた事業内容の充実」は、とても良いと思う。是非取り組んで欲しい。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
8	(P7 第2章 3第4次計画の評価と課題) 発表の場としてとても良い企画だと思う。地区町内会に作品の提供を図ってみてはどうか。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
9	(P7 第2章 3第4次計画の評価と課題) 「生涯学習手帳」について、現在どのような方法で配布しているのか。また、今後はどのような方法で配布をしていくのか。 この手帳はどのような人に配布されているのか。一部の人にしか周知・配布されていないように感じる。	「生涯学習手帳」については、各公民館や市民サービスセンターの学級や講座で配布しており、今後も周知に努めてまいります。
10	(P8 第2章 4世代別施策の現状と課題 (1)乳幼児教育) 小中学生の長期休みの際、子どもたちに対して教師OBの方などから宿題を教えてもらえないものか。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。 また、担当課にもご意見を伝えました。

「第5次秋田市社会教育中期計画(素案)」に対する意見等一覧

No.	意見	市の考え
11	<p>(P8 第2章 4世代別施策の現状と課題 (1)乳幼児教育)</p> <p>家庭における基本的な生活面において疑問を感じる場面が多々見受けられる。 子育てしやすい環境・手当をバックアップするよりも「親」、「祖父母」の子育てに対する考えを引き出す「学び」に力を入れて欲しい。 面倒だから、疲れているからと長時間保育園に預けっぱなし、休みでも子どもを預けるなど自分の子どもと関わらない親が増えているように感じている。 制度を変えて、厳しさもありの子育て内容もありかと思う。</p>	<p>いただいたご意見については、第5次の計画に基づいて各事業を計画および実施する際に参考とさせていただきます。</p>
12	<p>(P8～9 第2章 4世代別施策の現状と課題 (1)乳幼児教育)</p> <p>親同士がコミュニケーションをとれる場所は、家の近くの方が良いと思う。近くの小学校や保育園、公民館などを利用できたら良いのではないか。</p>	<p>いただいたご意見については、第5次の計画に基づいて各事業を計画および実施する際に参考とさせていただきます。</p>
13	<p>(P8～9 第2章 4世代別施策の現状と課題 (1)乳幼児教育)</p> <p>講習や講座があっても乳幼児を連れての参加はできないのが現状。託児付きの講座をもっと充実してもらえると子育て中の親も参加しやすい。 また、子育て中にどうにもならない事態に陥ったとき、例えば母親が具合が悪い、急用ができたときなどに利用できる施設等があると助かると思う。</p>	<p>いただいたご意見については、第5次の計画に基づいて各事業を計画および実施する際に参考とさせていただきます。 また、担当課にもご意見を伝えました。</p>
14	<p>(P8～9 第2章 4世代別施策の現状と課題 (1)乳幼児教育)</p> <p>子供は家族の誰かがしっかりと見取れることが大事で、養育者が、親か祖父母かは問題ないと思う。今の保護者の子供への期待、教育への関心は高く家庭の教育力が低いとは言いきれない。むしろ、親や子供の意識調査にも教育力の高さが表れている。 家庭での教育への関心の高さに応えるためにも、学習の仕方や子育てについて、教育関係者を中心に、乳幼児から小学生をもつ保護者用のパンフレットや冊子を作成してはどうか。 特定の乳幼児関係機関の支援よりは広く家庭の要望に応じた施策が良いと思う。相談したいときに、家庭の事情に応じて対応できる機関の周知が必要で、公民館等はその窓口としての機能を持たせたい。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
15	<p>(P9 第2章 4世代別施策の現状と課題 (2)青少年教育)</p> <p>「喜びや楽しさを感じながら学べるメニュー」とあるが、この時期の子どもは既に興味のある分野、興味のない分野がはっきりしていると思うので、いくつかのメニューから選択できるようにした方が良いと思う。また、楽しさを感じる学習というのは小さい頃から行うことで大人になっても「楽しい」と思い続けられるのではないだろうか。小学生から勉強が楽しいと思えるような学習内容が望ましい。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

「第5次秋田市社会教育中期計画(素案)」に対する意見等一覧

No.	意見	市の考え
16	<p>(P9 第2章 4世代別施策の現状と課題 (2)青少年教育)</p> <p>ここの記述内容は、諸課題を的確に捉え、わかりやすく具体的に整理されて、乳幼児から高齢者教育までの4分野の中で、最も良くまとめられている。親子一緒に、若しくは、子供たちだけで、ものづくりや工作などを体験するイベントや学習会、学習ボランティアやいくつかのサークル、地域の方々が学校に出向いて指導者として関わっているクラブや総合的な学習の時間への支援、市全体、各地区毎に、このような取り組みを企画して一層充実させたい。家庭も含め、小学生を対象にした事業は、内容の如何に関わらず、子どもたちの成長や将来に大きな力を発揮する。実施にあたっては学習ボランティアなくしては不可能で、非常に大きな存在でもある。ボランティア団体の一層の充実と発展のために適正な予算措置を行い、拡充と充実を図りたい。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますとともに、ボランティア等の育成や活用を推進してまいります。</p>
17	<p>(P9 第2章 4世代別施策の現状と課題 (2)青少年教育)</p> <p>あたたかい家庭環境と教育が必要なのは乳幼児期からだと思う。絆をただ深めるといよりはそれぞれの距離感を学ぶのも重要だと思う。書籍を読むことも大切だが、まず書籍に興味を持ってもらうのは大変なこと。まずは自分がどんな価値観を持っているのか等自分の心理を知る機会があっても良いのではないか。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
18	<p>(P9 第2章 4世代別施策の現状と課題 (2)青少年教育)</p> <p>(P16 第3章 4施策の展開)</p> <p>家庭教育学級の参加者は、各学校のPTAのリーダー的存在の方も多く、ここで学んだことをそれぞれの学校のPTA活動に反映することは大きな意義がある。親の意識改革や良好なPTA運営につながり学校の教育力向上にも貢献できる。世代間のつながり、これからの若い人たちの社会教育への参画といった点でも意義深い。家庭における学習やしつけ面での保護者へのアドバイスになるような学習会を核の一つに据えたい。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
19	<p>(P9 第2章 4世代別施策の現状と課題 (2)青少年教育)</p> <p>純粋に広く深く読書ができる時代は青少年の頃である。読み聞かせも含め読書の効用は大きく学校だけでなく親も力を入れている。親が子供に本を薦めるのは非常に良いことだが、「どんな本を読ませたら良いかわからない」「読ませたい本がどこにもない」といった声がよく聞かれる。市販の本屋さんにも子ども向けの本は乏しく、図書の購入を第一に、小・中学生を対象にした各図書館の環境整備に努めてほしい。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますとともに、今後も児童・生徒向けの図書の充実に努めてまいります。</p>

「第5次秋田市社会教育中期計画(素案)」に対する意見等一覧

No.	意見	市の考え
20	<p>(P10 第2章 4世代別施策の現状と課題 (3)成人教育)</p> <p>子育てが一段落した40代、50代の女性は、学費のためにパートに出るなど、学習したくても時間が合わず参加できない人が多いのではないかと思う。また、どのような学びの場があるのかあまり知られていないように感じる。「学び」の情報収集や提供に期待している。</p> <p>育児世代の若いお母さんと別年代の比較的年の近い子育て経験者の人たちの交流で、子育てや生活していく上での悩みの相談などの場所もあってほしいと思う。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきますとともに、「学び」の情報提供に努めてまいります。</p>
21	<p>(P10 第2章 4世代別施策の現状と課題 (3)成人教育)</p> <p>学級については、参加の仕方が多様で、組織や体制の面でも異なり、参加者が安心して快く活動できるように、支援のあり方のガイドラインを統一する必要があると思う。</p> <p>公民館等の担当者が全面的に運営する主催学級については、実施する意義や参加者の固定化は大きな課題。年間の実施回数はじめ規模等のアウトライン化を図るとともに、学級の枠を越えて参加の仕方をオープンにした講座を開催する方向で行えば良いと思う。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
22	<p>(P10～11 第2章 4世代別施策の現状と課題 (4)高齢者教育)</p> <p>受けたい講座があつて参加したが、参加者が固定化しているようで非常に肩身の狭い思いをした。講師の方も顔見知りの受講者の方へ行きがちで質問もできなかった。</p> <p>例えば、常連の方には講師側のボランティアにまわってもらう等工夫すれば初参加の人も気持ち良く受講できると思う。</p>	<p>いただいたご意見については、第5次の計画に基づいて各事業を計画および実施する際に参考とさせていただきます。</p>
23	<p>(P10～11 第2章 4世代別施策の現状と課題 (4)高齢者教育)</p> <p>「今後の対応」の「身近な場所を活用した学習機会の提供」に大きな期待を覚える。町内会館等の活用は参加者の増加を図るうえで有効だと思う。</p>	<p>いただいたご意見については、第5次の計画に基づいて各事業を計画および実施する際に参考とさせていただきます。</p>
24	<p>(P10～11 第2章 4世代別施策の現状と課題 (4)高齢者教育)</p> <p>高齢者学級の「大学」という名称は堅苦しく荷が重い、気軽に集まって談笑できる場が良いといった声をよく聞く。高齢化が一層進む中で時代に適したものにする必要がある。大学制を廃止し気楽に学べる学級にする、また、実施の際には、福祉等の機関とも連携し、場所や内容を複合的に捉え、様々な形態やミニコミュニティサロンのようなものも考えてみてはどうか。また、高齢者の持つ知恵や技、考え方や生き方を子どもたちに伝える機会は、高齢者にとっては目標や活躍の場につながり、子供や家庭にとっては助かり、一挙両得である。世代間交流の本来の趣旨にも合い、今後の課題として捉えたい。</p>	<p>いただいたご意見については、第5次の計画に基づいて各事業を計画および実施する際に参考とさせていただきます。</p>

「第5次秋田市社会教育中期計画(素案)」に対する意見等一覧

No.	意見	市の考え
25	<p>(P10～11 第2章 4世代別施策の現状と課題 (4)高齢者教育) 高齢者学級・大学に入らなくても定年退職した人の支援活動と高齢者の学習意欲活動の充実を図るため、市で所有している有料の美術館や資料館等の入館を本人の身分を証明するもの(免許証や保険証、診察券等)を提示することによって入館できるようにして個人の学習意欲向上を支援できるようにしてもらいたい。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
26	<p>(P12 第3章 1目標) 「共に学び 共にはぐくむ 元気な秋田」を合言葉として掲示物や配布物に掲載し、市民一体となって運動を展開することを提案する。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、社会教育を推進してまいります。</p>
27	<p>(P12 第3章 1目標) (P13 第3章 2基本方針) 現在、地区コミセンで教室を開き指導している。子育て、介護、勤めを終え、皆熱心に趣味を楽しんでいる。年に1度のコミセンまつりでは以前に比べ作品の展示も大幅に減り、さみしい限りである。指導者の高齢化、不況から趣味にお金をかけられない、など様々な原因があると思う。そのようななかで我がサークルでは昨年展覧会を開催し、大きな充実感を味わった。高齢者でも新しいことへの不断の努力を重ねていけば大きな達成感を味わえることを実感した。 元気で生き生きと活動しているグループに対して行政側でも関心を持ち、広報などによりもっと市民に周知することはできないのか。 また、実績に応じて助成してもらえないのか。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。 また、担当課にもご意見を伝えました。</p>
28	<p>(P12 第3章 1目標) (P13 第3章 2基本方針) 第5次計画でも第4次に引き続き「共に学び 共にはぐくむ 元気な秋田」を目標にするようだがさらに内容を充実して推進してもらいたい。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえて、社会教育を推進してまいります。</p>
29	<p>(P12 第3章 2基本方針) 市民協働による「学び」とあるが一般市民に対してどのような働きかけがあるのか。</p>	<p>地域で活動している方(団体)等に、各事業の講師やボランティアとして依頼しております。また、「学び」の情報提供や相談事業を通じて、市民の「学び」に対する意識づくりと参画を促すとともに、地域住民自らの企画立案で行う学習などの支援を行っております。</p>
30	<p>(P14 第3章 3施策の体系) 年齢に関係なく「ひきこもり」「孤立」状態にある人が増加していると思う。そのような人々を掘り起こしサポートする体制作りを期待している。 素案のため、具体的な活動内容が見えてこないが今後の計画に期待している。 地域のサービスセンターやコミセン、フォンテ文庫など自分が子育て中であつたらよかつたと思う施設が増え、とても良い環境が整ってきていると思う。さらに有効活用されることを期待する。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>

「第5次秋田市社会教育中期計画(素案)」に対する意見等一覧

No.	意見	市の考え
31	(P14 第3章 4施策の展開) 基本方策のほとんどが「体制を整備充実」「機会を充実」とあるが、「充実」の中身である「市民、企業、関係機関との連携」と「社会教育関係職員の資質向上」はこれまでも行ってきていることではないか。人的、資金的負担をどう解決するのも気になる。 市の保健・福祉推進事業との連携も期待している。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
32	(P15 第3章 4施策の展開) 情報提供の整備充実における主な取組が記載されているが、インターネットやホームページは関心があれば覗くものであり、冊子は求めて出向かなければ入手できない。したがって新たな参加者の掘り起こしにはつながらないのではないか。 今後は、「市政番組」の利用、ポスター掲示、「広報あきた」にて各種講座や活動について紹介する等、考えてみなければならないと思う。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。くとともに、「学び」の情報提供に努めてまいります。
33	(P15 第3章 4施策の展開) 「インターネットの活用による生涯学習情報の提供」とは、具体的にどのようなものを想定しているのか。	ホームページを活用し、各種講座や学級、登録サークルおよび生涯学習講師団などの情報を提供してまいります。また、秋田県生涯学習支援システム「まなびサポートあきた」を通じて事業紹介を行います。
34	(P15 第3章 4施策の展開) 情報提供手段であるはずのホームページが見にくい。ICTの活用を重点として挙げているのであれば、ホームページの改善が必要ではないか。	いただいたご意見を踏まえ、ホームページを工夫するなど「学び」の情報提供に努めてまいります。
35	(P16 第3章 4施策の展開 (5) 青少年教育による体験活動・親子体験活動) 今まで30数年にわたり、市内各小学校の子どもたちが数多く参加し、体験を通して交流を深め友情を培う場として大きな実績を積み上げてきた秋田市子ども会育成連絡協議会の活動事業(夢と友情の旅。自然と仲間の一泊体験)を再確認して子どもの参加はもちろんだが、親にも子ども会のボランティア活動に携わる機会を与え、ボランティア養成の場として積極的に活用、支援してほしい。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
36	(P16 第3章 4施策の展開) 一般的に得をする、楽しい等のメリットこそ集客力があり参加意欲を高められる。プロと契約する等ICT活用にも予算を投入したらどうか。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
37	(P15 第3章 4施策の展開) 市民にとってありがたいことであり、この取組に賛同する。ニーズの把握方法について、市民アンケートも一つの方法だがアンケート調査だけで真のニーズや隠れたニーズを把握するのは難しいのではないか。アンケート調査に加えて、例えばボランティアの協力を得て戸別訪問によるヒアリングを実施する、町内会の行事等の機会を利用して要求を吸い上げるなど、市民のもとへ直接出向いて要求を聞き取ることも必要ではないか。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
38	(P17 第3章 4施策の展開) これは(読書記録帳)市民誰にでも配布されるものなのか。	各市立図書館に設置し、誰でも手に取れるようにしております。

「第5次秋田市社会教育中期計画(素案)」に対する意見等一覧

No.	意見	市の考え
39	(P15～P18 第3章 4施策の展開) (P18 第4章 2計画の進捗管理) 基本施策として1～5まで多方面にわたっている。実施状況を毎年度調査し評価および見直しをするようだが見直しなどは素早く対応してもらいたい。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
40	(計画全般) 市の活動が市民に周知されていないことが多いように感じた。市民に行き届いてこそ政策や対策だと思う。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますとともに、「学び」の情報提供に努めてまいります。
41	(計画全般) 素案を通読し、社会教育の組織・運営方法が大雑把に把握できた。5年ごとに計画が立案・運営されてきたこと等は非常に興味深い。しかし、この素案だけでは多くを理解することは難しく、資料やPR不足は否めない。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますとともに、「学び」の情報提供に努めてまいります。
42	(計画全般) 社会教育の営みは市民生活には生かされていない。PR不足により一般市民には浸透していない。評価向上にはPR・広報の徹底から。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますとともに、「学び」の情報提供に努めてまいります。
43	(計画全般) 整然とまとめられた計画書だと思う。特に策定趣旨から現状分析、目標と施策、計画推進、そして管理・評価と、的確に説明されている。しかし、「事業」「施策」という言葉が出てきても、その具体的な内容を想定できないのが残念である。	この計画は、本市社会教育の指針と具体的な施策の方向性を示すものであるため、事業等の具体的内容については記載しておりません。
44	(計画全般) 豊かな社会教育がより多くの市民に提供されることで、市民の生活の質が向上すると考えられる。さらに、他市町村との比較において、より豊かな社会教育環境は移住等を検討している人々へのPRの材料にもなりえる。	いただいたご意見を参考に社会教育内容の充実および教育環境の充実に努めるとともに、ホームページ等を活用した情報発信に努めてまいります。
45	(計画全般) 社会教育の視点として ・より多くの市民がアクセスできる機会が担保されていること(定量的目標) ・社会教育が市民の生活の質を高めていること(定性的目標)をモニターしていくことが大事だと考える。 また、現状のプログラム参加者を対象にしたアンケートだけではなく、参加していない人の声も参考にしながら、プログラム内容を充実していくべきだと考える。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。また、幅広く市民の学習ニーズを把握するためアンケート調査を実施し、学習プログラムの充実に努めてまいります。
46	(計画全般) 第5次中期計画の目標、基本方針、施策はすべてすばらしく理解できる。これを軸にして実現に向け市民全体に浸透し、成果につなげていかなければならないと思う。 長年地域の方々とふれあい、多方面にわたって話を聞いてきた。地域内での会話・ふれあいは大切であると実感している。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
47	(計画全般) 生涯学習やボランティア活動は一部の人たちだけで、敷居が高いイメージがある。市民にも広まって欲しい。	いただいたご意見については、参考とさせていただきますとともに、より多くの市民が学習やボランティア活動に参加できるよう努めてまいります。

「第5次秋田市社会教育中期計画(素案)」に対する意見等一覧

No.	意見	市の考え
48	(その他) 各公民館の廃止に伴い、公民館運営協力委員もなくなる。その分、生涯学習奨励員の役割も重要になると思う。SCの組織のなかに組み込んでみてはどうか。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
49	(その他) 北部市民サービスセンターに図書があるが、図書館との関係はあるのか。	北部市民サービスセンターにある図書コーナーは、市立図書館とは関係はなく、市民サービスセンター独自に設置しているものです。
50	(その他) 図書館は、市民が気軽に利用しやすい社会教育の場であり、より多くの市民が利用できるように、図書館の複合活用も視野に入れた利用者層の拡大を検討するべきと考える。	いただいたご意見については参考とさせていただくとともに、利用者の増加のため事業内容の充実に努めてまいります。
51	(その他) 秋田寿大学では、毎月の勉強会、スポーツ研修、施設見学、清掃等の活動を行い、老後の人生を有意義に過ごしている。この貴重な「学びの機会」を体験してもらいたい。寿大学での活動をPRしてほしい。	例年、「広報あきた」に記事を掲載し、入学生の募集を行っております。活動等のPRについては、相談に応じます。
52	(その他) 秋田市内には多くの史跡や歴史的に価値の高いものがある。 藤田嗣治の壁画のように世界に誇れる芸術品等もある。 これらのことを義務教育のなかでも積極的に学んでいくことが必要。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。また、担当課にもご意見を伝えました。
53	(その他) 雑草抜きと散歩の体験 今後の計画と歴史公園としての展望の説明・寄付金の依頼	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。また、担当課にもご意見を伝えました。
54	(その他) 市とその周辺を含めてバスツアーを企画してみてもどうか。興味を感じた人が近くの文化財に足を運ぶきっかけになると思う。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。また、担当課にもご意見を伝えました。
55	(その他) 国際交流を推進することは、市民にとっての社会教育の一つと考えられる。そこで、秋田市在住の外国人による文化紹介プログラムの実施なども検討してみてもどうか。	いただいたご意見については、第5次の計画に基づいて各事業を計画および実施する際に参考とさせていただきます。
56	(その他) 現在、秋田市ではCCRCを含めて、移住対策に力を入れており、充実した社会教育はその上でアピール材料の一つとなる。秋田市内にある大学(国際教養大学、秋田公立美術大学、秋田大学、ノースアジア大学)での、秋田市民を対象にしたプログラムづくりも視野に入れるべきだと考える。	本計画の基本方針の一つに「『学び』の支援体制・情報提供を充実します」を掲げており、大学を含む関係機関等との連携に努めてまいります。
57	(その他) 「誰もが障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す」という第4次秋田市障がい者プランで掲げられている通り、社会教育の場において、点字や手話など、障がいの理解を深めるプログラムも追加するべきと考える。	いただいたご意見については、第5次の計画に基づいて各事業を計画および実施する際に参考とさせていただきます。

「第5次秋田市社会教育中期計画(素案)」に対する意見等一覧

No.	意見	市の考え
58	(その他) いじめ問題について、中期計画のなかに取組がないが、他のところで推進しているのか。	学校教育部門が中心となり、関係機関等と連携協力しながら対応しております。